

This is a newsletter from Shinshu University International Center (SUIC)
In case this email newsletter is unreadable, please try the online version
http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/upload/pdf/publications/suicnewsletter_vol.20.pdf

◆◆◆ Vol.20 2009. 6.18 ◆◆◆

信州大学国際交流センター ニュースレター
Shinshu University International Center (SUIC) Newsletter

◇◆◆◆◆

発行：信州大学国際交流センター(SUIC)
<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/>

[今号の目次]

- * ごあいさつ
- * 最近の出来事
- * スタッフ近況報告 (天野先生)
- * 生活ちょっとコラム

■□

□ ごあいさつ

ちょっとす曇の5/30(土)、松本市のあがたの森で開かれた「クラフトフェア」に何年かぶりに行ってきました。

このフェアは1985年に始まり、毎年全国から陶芸・ガラス・木工・金属・染織等のアーティストが出品します。小さなブースが屋外に並び、芝生の上や木々の間をでぶらぶら歩きながら見て回れるのも特徴的です。

今年は聞くところによると、なんと約1000の応募の中から300の選り抜かれたブースが並んだそうです。それゆえ見ごたえ十分で、それぞれセンスの良さに驚かされます。アクセサリーや麻のタペストリー、額に入った楽器のオブジェなどとても惹かれましたが、それぞれが手作りの創作品のためか、全体的に値段の高いこと！欲しいものはたくさんありましたが、結局何も買わずに終わってしまい残念(涙)。

来年も是非見に行きたいイベントです(^ ^) /

■□

□ 最近の出来事

▼トピックス

○松本キャンパスが舞台の映画「今度の日曜日に」が公開！

昨年3月、全学教育機構を中心に撮影された市川染五郎主演の映画が、公開されています。(長野県は終わり間近ですが)

見慣れた風景のなかで繰り広げられる、心あたたまるドラマをぜひご覧ください。

映画公式サイト⇒ <http://www.nichiyoubini.com/>

○第50回在日外国人による日本語弁論大会
経済の留学生 官琳さん受賞！

5/30(土)、日本に在住している外国人の日本語弁論大会が函館であり、本学の留学生 官琳さん(中国 経済3年)が「主催団体特別賞」を受賞しました！

この大会は50年の歴史を誇り、今回応募者130名の中から最終審査に12名が選ばれ、その内本学から2名 官琳さんとアイヌラさん(キルギス 経済2年)が残りました。(ちなみに最終審査に残ったのは初めてだろうとのこと。)

※大会の様子は、7月12日 日曜日 22時から23時30分にNHK教育テレビ(ETV特集)にて放映されます。
官琳さんの発表テーマ：日本人と友達になるには

国際交流センターHP⇒ <http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/aboutus/cat3144/post-6.html>

○信州大学創立60周年記念行事開催

6月6日（土）、長野県松本文化会館で信州大学交響楽団、信州大学教育学部附属松本小学校合唱部、信州大学教育学部附属松本中学校3年生、ソプラノの池田京子本学教育学部教授による記念コンサートが開かれました。その後開かれた記念式典には、県内外から来賓、同窓生、教職員約千人が出席し、小宮山学長が式辞を述べました。

また、式典終了後に開かれた記念祝賀会では、各サークルの活動が披露されるなど現役信大生の元気な姿が祝宴に花を添え、盛大に60周年の節目を祝いました。

信州大学HP⇒<http://www.shinshu-u.ac.jp/topics/2009/06/post-219.html>

▼イベント報告

○さくらまつり

4月26日、塩尻市でNP0法人国際文化友好協会主催の「さくらまつり」が開催され、留学生14人が参加しました。

人と人、国と国をつなぐ文化コミュニケーションとして、毎年開催されているそうです。
イベントには本大学のサークルYOSAKOI祭りサークル「和っしょい」の活動が披露されました。

○浅間温泉で植樹

5月24日、松本市を「第二のふるさと」としていつまでも大切にしたい、との思いをこめて松本市主催で植樹のイベントが開催され、およそ80名の参加者が浅間温泉の遊歩道に桜やもみじなどの苗木20本を植えました。

本学からは20名ほどの留学生が参加し、その模様が地元紙「市民タイムス」に写真入りで掲載されました。

★

スタッフ近況報告 ～ 天野先生 （国際交流センター非常勤講師）

★

地球には、今現在いくつの国があるのだろう。オリンピックの開会式を見ているだけでも、なんと多くの国々があるのかと目を見張る。気候も、地形も、歴史も、文化も違う多様な人々がこの地球を共有しているのだ。

私は、ここ数年、宇宙（universe）をテーマにシリーズでタペストリーを織っている。悠久の時の流れと無限に広がる宇宙に、安らぎと憧憬を感じるからだ。広大な宇宙の中の美しいひとつの星・地球。私が垣間見た世界は、ほんのわずかで、点にも満たない短い時間での体験だけれど、タイ、アメリカ、カナダ、オーストラリア、中国、韓国、ブラジル、スウェーデン、イタリアと、その度好奇心でいっぱいになった。現地の人々にとっては、ありふれた日の光や、動植物や市場なども、私には見るもの聞くもの、新鮮で刺激的でめまいがするほどだった。

様々な異文化体験の中で、いつも振り返って思うのは、「違いがあるから、面白い。」ということだ。そして、嬉しいのは、一見違うように見える人々の日常に、「違い」よりも、はるかに多くの「共通点」が見出せることだ。飛びっきりの笑顔や、あたたかい眼差しに勇気づけられ、ほっと安心する。

今、日本で生活している皆さんも、帰国してそれぞれの道を歩んでいる皆さんも、与えられたかけがえのない時間やチャンスを、生かしてほしいと思う。失敗もあるだろう。悲しい思いもするかもしれない。でも、いつかきっとそれも楽しく嬉しい体験と同じように、貴重な心の財産になることだろう。

私も、いくつになっても、好奇心と笑顔を忘れずに、自分磨きがしたいなと思っている。

最後になりましたが、皆さんが、お元気で素敵な体験を重ねていけるよう心から願っています。

天野弥生

★

生活ちょっとコラム

★

▼

松本など地方に住んでいると「車」生活は必須です。一時、ガソリンや灯油

*各種お問い合わせ
*配信停止希望
*メールアドレスの変更のご連絡
*情報掲載のご希望
*ご意見・ご感想 など